

令和 7 年度 以上児(ゆり・ばら・うめ) 1年間の反省

【担任】 うめ:古城・北川 ばら:木原・大神 ゆり:高木・小川

【生活】

- ◎身だしなみや身の回りの整理整頓を自分たちで意識できるような声掛けや環境を作るようにした。各クラス個人差はあるものの、毎日声掛けを行うことで自分で気づけるお友達が増えた。
- ◎食事のマナーでは、スプーンやお箸の持ち方・椅子への座り方など、年間を通して伝えていくがなかなか身につかず難しさを感じた。
- ◎登園・降園時には、保育者と子どもがお互いに気持ちよく挨拶が出来るようにしていく。各クラス保育室に入ってくる時は、「おはようございます。」降園の時は「さようなら。」の挨拶が身についたように思う。
- ◎降園後に園庭で遊ばずに帰ることを、年間を通して話し約束をしてきたが、園庭で遊んで帰る家庭も多く、保護者の協力が必要だと感じた。

【活動・行事】

- ◎お天気の良い日は各クラス戸外遊びを行い、体を思い切り動かす時間を多く設けた。
- ◎夏の遊びでは、各年齢に合わせた遊びを考え、楽しむことが出来た。
- ◎季節の折り紙製作や年中・年長のワークなど、子ども達が楽しく取り組めるように内容を工夫したり取り組む時期を考えた。各クラス年齢に合わせた制作を無理なく行った。
- ◎各年齢に合わせた競技やお遊戯を十分に検討し、練習時間にも配慮しながら子ども達の負担にならないようにした。
運動会の練習では、気温に十分注意しながら、水分補給や休息をとりながら行うことが出来た。本番では、体育館の温度が上がり、水分補給を行いながら競技に参加するが、熱中症などの心配があった。
- ◎保育参観では、保護者と一緒に楽しめる製作活動を行ったり、子ども達の頑張りを十分に見て頂ける活動・保育を行う。

【総括】

- ◎子ども達の活動や行事では、一人ひとりに合わせた個別の対応を行ってきた。集団生活の中での協調性・社会性などを経験する場面・活動が少なかったように思う。